

製品名: ALDH2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06763**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	ALDH2
別名	ALDH2; ALDM; Aldehyde dehydrogenase, mitochondrial; ALDH class 2; ALDH-E2; ALDH1
遺伝子 ID	217.0
SwissProt ID	P05091
免疫原	抗血清はヒト ALDH2 の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

背景

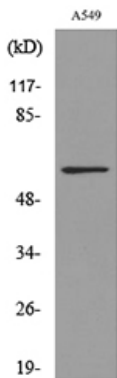
このタンパク質はアルデヒド脱水素酵素ファミリーに属します。アルデヒド脱水素酵素は、アルコール代謝における主要な酸化経路

の2番目の酵素です。アルデヒド脱水素酵素には、細胞質型とミトコンドリア型の2つの主要な肝臓アイソフォームがあり、電気泳動移動度、速度論的特性、細胞内局在によって区別できます。ほとんどの白人は2つの主要なアイソザイムを有しますが、東洋人の約50%は細胞質型アイソザイムを有し、ミトコンドリア型アイソザイムは有しません。東洋人における急性アルコール中毒の頻度が白人よりも著しく高いのは、ミトコンドリア型アイソザイムの触媒活性型の欠如と関係している可能性があります。触媒不活性型を持つ人はアセトアルデヒドへの曝露量が増加し、多くの種類の癌に対する感受性が高まる可能性があります。この遺伝子はミトコンドリアアイソフォームをコードしています。触媒活性:アルデヒド + NAD(+) + H₂O = 酸 + NADH。疾患:ALDH2の欠陥は急性アルコール過敏症の原因です [MIM:610251]。飲酒に対する反応には大きな個人差があります。最近の推定では、主観的影響(飲酒時にどのように感じるか)は成人で200%~300%異なり、エタノール代謝(アルコールが血流に吸収され肝臓で代謝される速さ)は約200%異なると主張しています。残念ながら、アルコール研究者は、個人間でこのような劇的な違いが生じる理由や、アルコール感受性の個人差が飲酒行動と問題のあるアルコール関連の結果にどのように関連しているかについてはほとんど知りません。経路:アルコール代謝;エタノール分解;エタノールから酢酸を生成する:ステップ2/2。多型:対立遺伝子ALDH2*2は、コーカサス人と比較して、東洋人および南米インディアンにおいて急性アルコール中毒の発生率が非常に高いことに関連している。類似性:アルデヒド脱水素酵素ファミリーに属する。サブユニット:ホモテトラマー。、

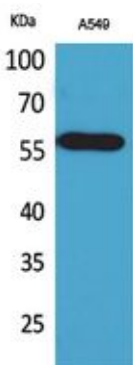
研究分野

解糖/糖新生;アスコルビン酸およびアルダル酸代謝;脂肪酸代謝;バリン;ロイシンおよびイソロイシン分解;リジン分解;アルギニンおよびプロリン代謝;ヒスチジン代謝;トリプトファン代謝; β -アラニン代謝;グリセロ脂質代謝;ピルビン酸代謝;プロパノ酸代謝;ブタン酸代謝;リモネンおよびピネンの分解;

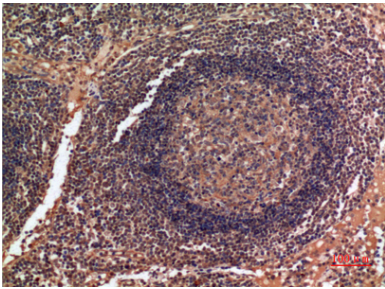
画像データ



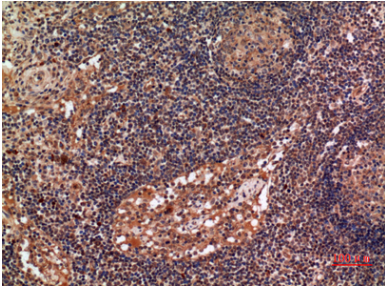
ALDH2抗体を使用したA549細胞の溶解液のウェスタンプロット分析。



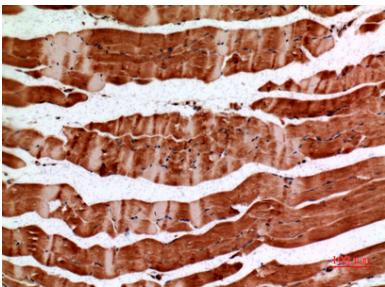
ALDH2ポリクローナル抗体を用いたA549細胞のウェスタンプロット分析。二次抗体は1:20000に希釈された。



パラフィン包埋ヒトリンパ腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒトリンパ腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス筋肉の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された